令和3年度授業改善推進プラン

【総合的な学習の時間】

《各学年の特徴》

- 3年 課題に興味・関心をもって取り組むことができる。
地域との関わりについて考え、身近な人びとや場所についてすすんで調べようとするができる。
- 4年 課題に興味・関心をもって取り組むことができる。
資料を使って調べたり、まとめたりすることができる。
- 5年 課題に興味・関心をもって取り組むことができる。
意欲的に体験活動に参加することができる。
- 6年 相手意識や目的意識をもち、見通しをもって活動を進めようとするができる。自分自身について客観的に振り返って考えられるようになってきた。

《課題となる育てたい力》

- 3年 興味・関心のあることから、自分なりの課題を見付け、調べようとする力
- 4年 体験・生活の中から、自分なりの課題を見付け、調べようとする力
- 5年 自らの興味・関心に沿った課題を見付け、課題に沿って適切な方法で調べる力
- 6年 自ら課題を見付け、友達や異学年と積極的に関わり、学んだことを課題解決に生かす力

☆授業改善の具体策☆

《授業全体に関わる事項》

- ・地域の人材の活用
- ・学年合同での指導
- ・コミュニケーション重視
- ・既習事項の応用・活用
- ・他教科との関連
- ・言語による分析、表現

《知識・技能》

- 3年 身近なものを教材とし、自分で課題を見付けられるような授業を行う。活動のまとめを生かして、新たな課題を見付けられるように、学習の振り返りの仕方を工夫させる。
- 4年 体験や生活の中から設定した課題の解決に必要な資料を選択することができるようにするため、実際に関わったり調べたりする時間を設ける。学んだことを次の課題解決に生かせるよう、自分の生活に関連付けて振り返りをさせる。
- 5年 自分なりに課題を見付け、どのように解決していくか考えて取り組む力を養うために、体験を取り入れた学習活動を行うなどの工夫をさせる。学習した内容や解決方法を生活に生かせるように、体験したことや学んだことを自分と関連付けて振り返りをさせる。
- 6年 社会や自分の生活につながる課題を見出し、解決方法を検討させながら、個別に課題を絞り課題解決学習を進めさせる。学習した内容や解決方法を日常の課題解決に生かせるように、学んだことを今後の自分や社会と関連付けて振り返りをさせる。

《思考・判断・表現》

- 3年 自分の考えやインタビューしたことを相手に分かりやすく伝えるために、絵地図や新聞など様々な表現方法を教え、自分たちで選び表現させる。
- 4年 自分の考えをまとめて分かりやすく伝えられるようにするために、クイズ・ポスター・新聞など他教科等で学習した表現方法やICT機器を活用させる。
- 5年 調べたことや考えたことを伝える相手や内容に応じて分かりやすく表現できるように、ICT機器や今までに学習した表現方法を整理し活用させる。
- 6年 調べたことや考えたことを伝える相手や内容に応じて分かりやすく表現できるように、ICT機器や今までに学習した表現方法を工夫し活用させる。

《主体的に学習に取り組む態度》

- 3年 友達や身近な人と関わるような交流活動を取り入れる。
- 4年 友達や様々な学年の人と関わるような交流活動を取り入れる。
- 5年 地域の人やゲストティーチャーなど様々な人々と関わる機会を取り入れる。
- 6年 インタビューや交流の場を設け、個人からグループによる協働活動を多く取り入れる。